ＰＣＸ１５０ S-Stage eco ボアアップキット　取扱説明書

（レギュラーガソリン仕様）ボア径：φ６１mm　ストローク：５７.９mm（ノーマル）　排気量：１６９.２ｃｃ

・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
　使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの
　点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

商品番号	：０１－０５－０１５４（カムシャフトレス）
	：０１－０５－０１５５（カムシャフト付属）
適応車種	：ＰＣＸ１５０
フレーム番号	：ＫＦ１２－１０００００１～１１９９９９９

！Ｆ.Ｉ.コントローラーについて！

Ｓ-Ｓｔａｇｅ　ｋｉｔのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ずＦ.Ｉ.コントローラーをご使用下さい。

！デコンプについて！

デコンプを取り付ける場合は純正カムシャフトの分解、プーラー、プレス等の特殊工具が必要になります。
デコンプを取り付けない場合、アイドリングストップモードで使用すると発進時のエンジン始動に若干の遅れが生じますのでアイドリングモードでご使用下さい。

！クラッチセンタースプリングについて！

この製品やマフラー等の組み合わせにより、ドライブベルトの滑りが生じる場合があります。この場合、弊社製クラッチセンタースプリングをご使用下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎スパークプラグは、まずノーマルにて電極部の焼け具合を確認し、個々の車両に合った番数を決定して下さい。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎この製品の取り付けはエンジン脱着作業が必要です。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
◎取り付けの際には工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎カムシャフトレスキット：０１－０５－０１５４は弊社製スポーツカムシャフトの同時装着が必要です。
◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎このキットを取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には不向きです。

⚠注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
　（部品の脱落の原因となります。）

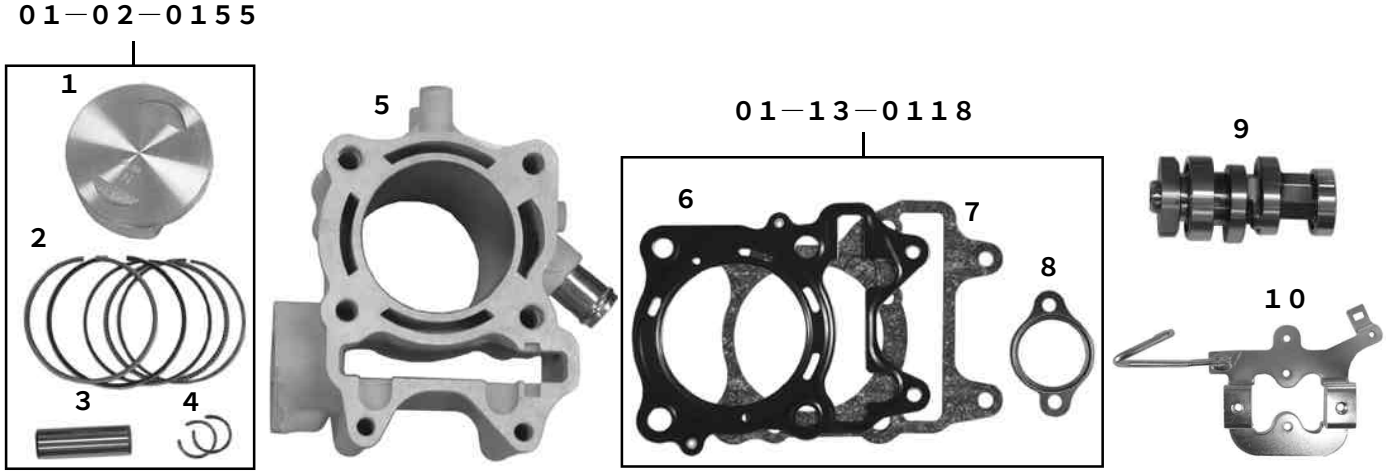
⚠警告　この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
　（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
　（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
　（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

Apr./10/'13　rev.Apr./22/'13　rev.Jul./29/'14

～商　品　内　容～



番号	名称	個数	リペア品番	入数
１	ピストン　６１mm	１	１３１００－ＫＺＹ－Ｔ１０	１
２	ピストンリングセット　６１mm	１	００－０１－１０７２	１
３	ピストンピン　１４mm	１	１３１１１－ＧＮ１－Ｔ０２	１
４	ピストンピンサークリップ　１４mm	２	００－０１－００５２	６
５	シリンダー　６１mm	１	０１－０１－０１１０	１
６	シリンダーヘッドガスケット	１	００－０１－１０６９	１
７	シリンダーガスケット	１	００－０１－１６７０	１
８	テンショナーリフターガスケット	１	００－０１－１０７１	１
９	カムシャフト（Ｓ２５Ｄ）	１	０１－０８－００６３	１
１０	イグニッションコイルステー	１	００－０１－１６６９	１

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

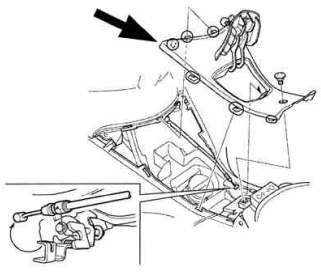
～取　り　付　け　要　領～

※水平な場所でセンタースタンドを立て、車両をしっかりと安定させる。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行う事。
※取り外した各パーツはホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにする。
※取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管する。

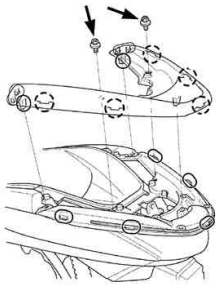
●外装部品取り外し

・ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、・以下外装部品を取り外す。

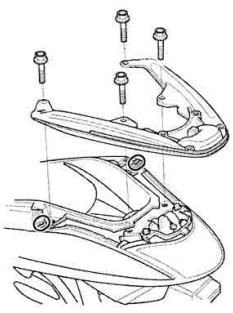
シート
センタカバー



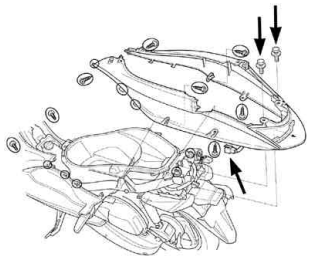
グラブレールカバー



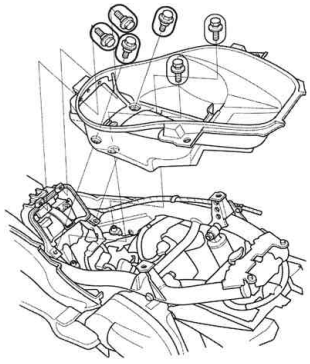
グラブレール



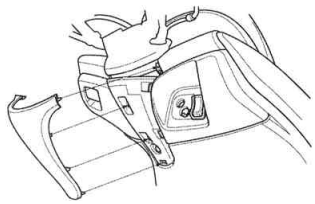
ボディカバー



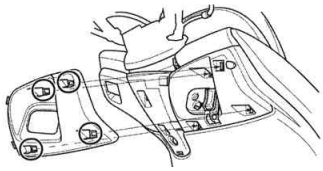
ラゲージボックス



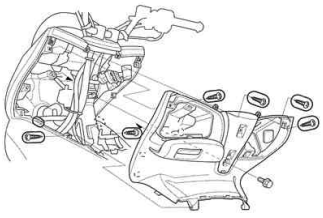
メーターパネルカバー



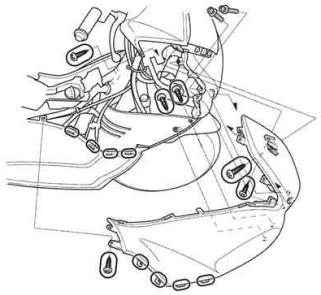
R.インナメンテナンスリッド



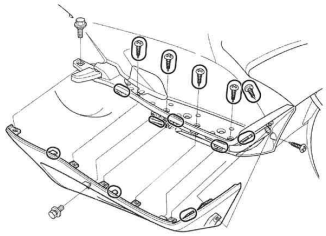
インナカバー



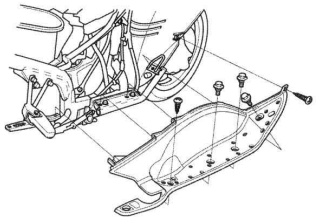
フロントカバー



フロアマット及びサイドカバー



フロアステップ

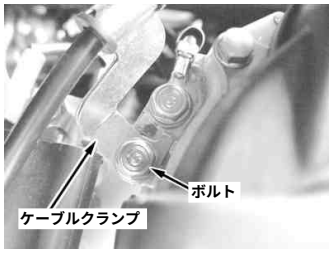


●エンジン取り外し

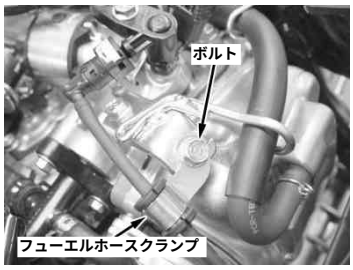
・リアブレーキアームのアジャストスクリュー／ジョイントを取り外す。ホルダー部からリアブレーキケーブルを取り外す。

・ボルトを取り外し、リアブレーキケーブルクランプを取り外す。

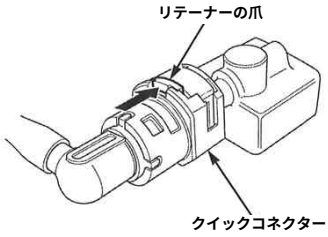
・ボルトを取り外し、ケーブルクランプをクランクケースから取り外す。

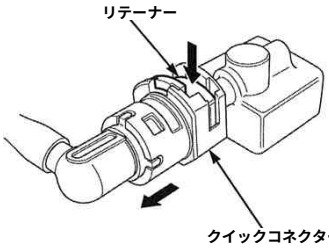


・ボルトを外し、フューエルホースクランプをシリンダーヘッドカバーから取り外す。

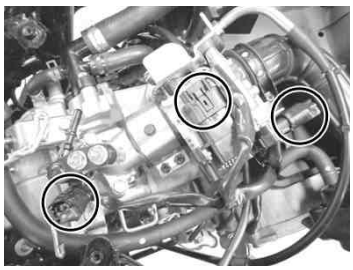


・フューエルホースのクイックコネクターの接続を外す。リテーナーの爪を図の方向に押し、リテーナーを下に押しながらコネクターを引き抜く。
※フューエルホース内の燃料がこぼれるのでコネクター周りをウエスでカバーしておく。

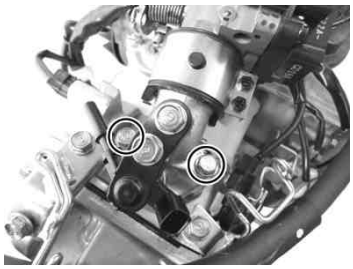


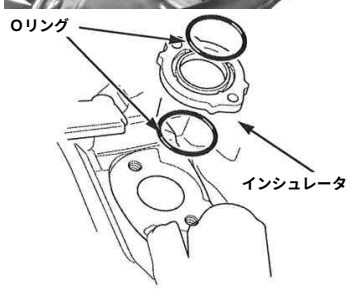


・インジェクター２Ｐカプラ、センサーユニット５Ｐカプラ、ＩＡＣバルブ４Ｐカプラの接続をそれぞれ外す。



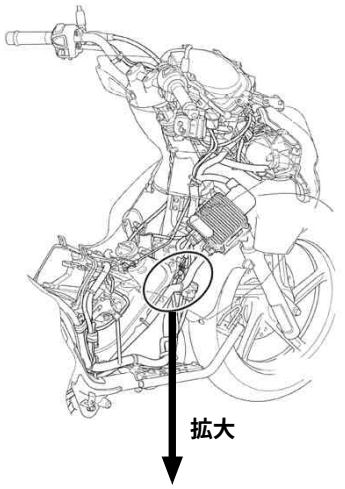
・２本のボルトを取り外し、シリンダーヘッドからインテークマニホールドとインシュレータ／Ｏリング２個を取り外す。

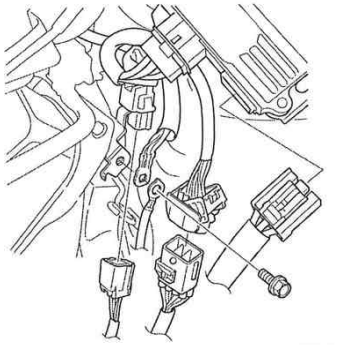




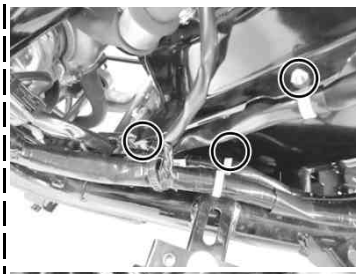
・エアクリーナーコネクティングチューブのバンドのスクリューを緩める。インテークマニホールド／スロットルボディーをコネクティングチューブから取り外し、エンジンの上からよけておく。

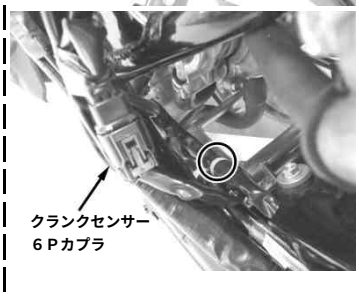
・エンジンコントロールユニット３Ｐ黒色カプラ、エンジンサブハーネス１０Ｐカプラ、エンジンサブハーネス６Ｐ黒色カプラの接続をそれぞれ外す。ボルトを外し、アースケーブルを取り外す。





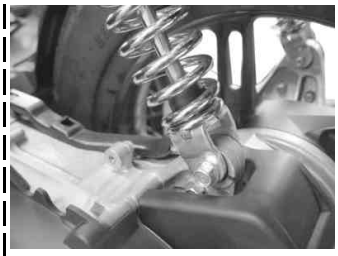
・４箇所のワイヤーバンドボスをフレームから取り外す。クランクセンサー６Ｐカプラの接続を外す。





・ホースクランプをラジエターのサイフォンホースに取り付け、ホースの接続を外す。ホースガイドからサイフォンホースを取り外す。

・左右のリアショックのアッパーマウントナット及びロアマウントボルトを緩める。



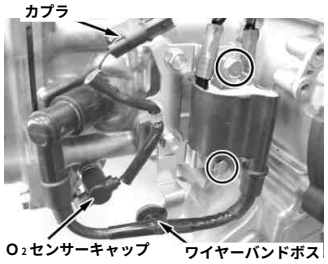
・エンジンハンガーナットを緩め、取り外す。

・フレーム下部にジャッキなどをかけ、リアショックを無負荷の状態にした後、リアショックのアッパーマウントナット／ワッシャ各２枚及びロアマウントボルトを取り外し、リアショックを取り外す。エンジンハンガーボルトを抜き取り、エンジンをフレームから取り外す。

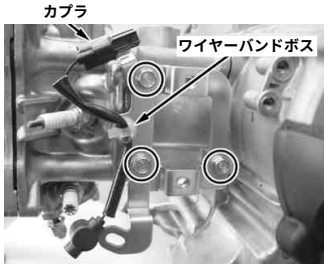
●エンジン分解

1．イグニッションコイル取り外し

・イグニッションコイルの配線の接続を外す。スパークプラグキャップを外し、ワイヤーバンドボスをステーから取り外す。
２本のボルトを取り外し、イグニッションコイルをステーから取り外す。O_2センサーキャップを回すのを１／２回転以下に抑えながらセンサーから外し、O_2センサーハーネスのカプラの接続を外す。

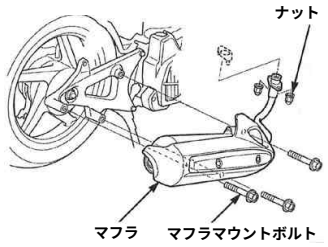


・３本のボルトを取り外し、ステーをシリンダーから取り外す。O_2センサーハーネスのワイヤーバンドボスとカプラをステーから取り外す。



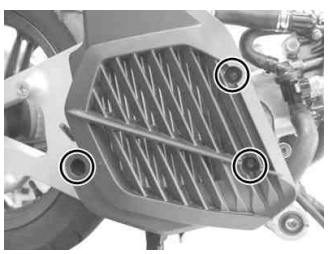
2．（ノーマル）マフラ取り外し

※エキゾーストマフラが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラの取り扱い説明書に従う事。
・シリンダーヘッド側のナット２個を取り外す。３本のマフラマウントボルトを取り外しマフラを取り外す。

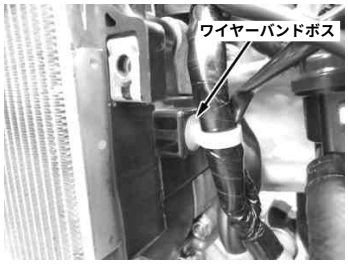


3．ラジエター／ポンプ取り外し

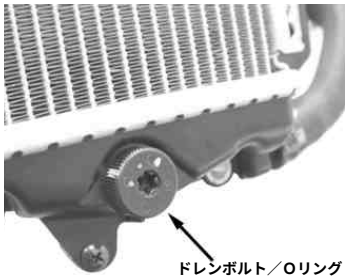
・ボルト３本を取り外し、ラジエターカバーを取り外す



・ワイヤーバンドボスをラジエターから取り外す。



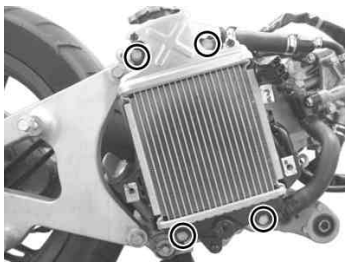
・ラジエターのキャップとドレンボルト／Ｏリングを取り外し、冷却水を排出する。排出後はキャップとドレンボルト／Ｏリングを仮止めし、異物の混入を防ぐ。



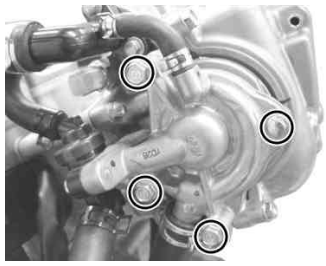
・シリンダーのドレンボルト／シーリングワッシャを取り外し、冷却水を排出する。

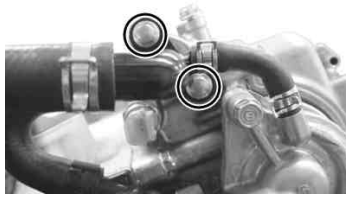
・シリンダーのウォーターホースの接続を外す。

・ボルト、ワッシャ４本を取り外し、ラジエターを取り外す。



・ウォーターポンプのマウントボルト４本を取り外す。ウォーターホースジョイントの２本のボルトを取り外す。



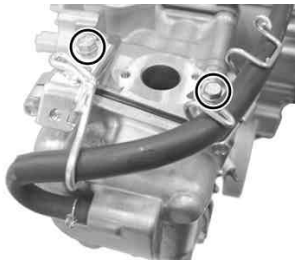


・ラジエター／各ウォーターホース／ウォーターポンプカバーをエンジンから取り外す。

・ウォーターポンプＡＳＳＹ.をシリンダヘッドから取り外す。

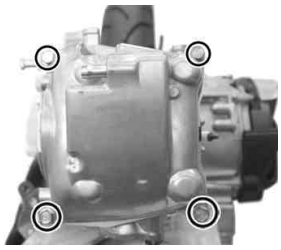
4．シリンダーヘッド、シリンダー、ピストン取り外し

・シリンダーヘッドカバーからブリーザーホースの接続を外し、２個のホースクランプのボルトをそれぞれ取り外し、シリンダーヘッドから取り外す。

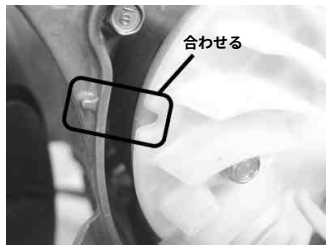


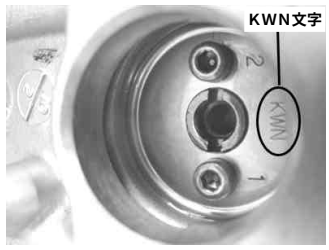
・シリンダーヘッドの水温センサーのカプラの接続を外す。

・４本のボルトを取り外し、ヘッドカバー及びラバーシールを取り外す。

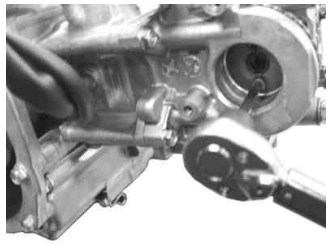


・クーリングファンを時計方向に回し、クーリングファンの切り欠き部（Ｔマーク）とクランクケースの合わせマークを合わせる。カムスプロケットの合わせマークがヘッド面と合い、ＫＷＮの文字が前方を向いていることを確認する。

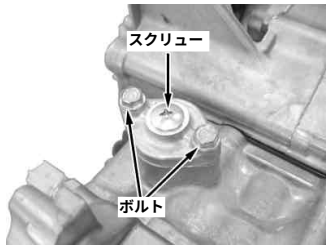




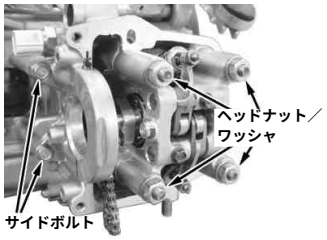
・ボルト２本を取り外し、カムスプロケットをカムシャフトとカムチェーンから取り外す。



・カムチェーンテンショナーのスクリューを取り外しておく。ボルト２本を取り外し、カムチェーンテンショナーを取り外す。

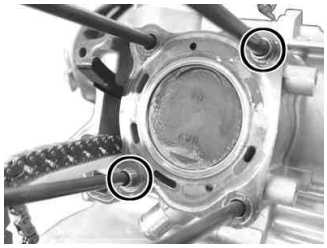


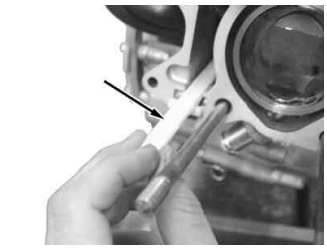
・シリンダーヘッドサイドボルト２本を取り外す。シリンダーヘッドナット４個を対角に数回に分けて緩め、ワッシャ４個と共に取り外す。



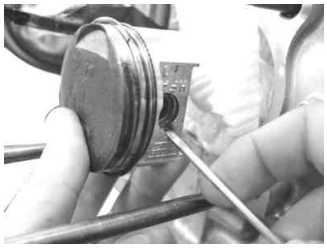
・シリンダーヘッドを取り外す。

・ノックピン２個は再使用するので取り外しておく。カムチェーンガイドを取り外す。

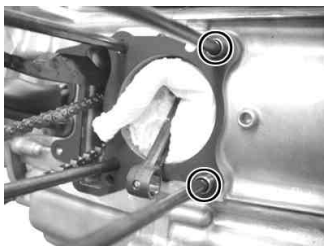




・シリンダーを取り外す。
・クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホール部にゴミや部品などを落とさないようにウエスを詰め込む。
・ピストンピンサークリップの片側を取り外す。ピストンピンを外してピストンを外す。



・シリンダーガスケットとノックピン２個を取り外す。

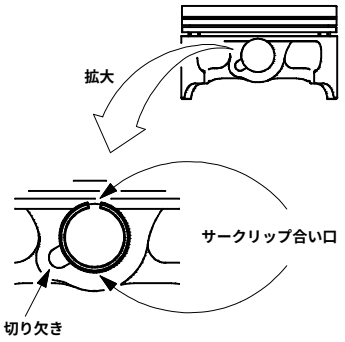


・クランクケースのシリンダー取り付け面をきれいにする。

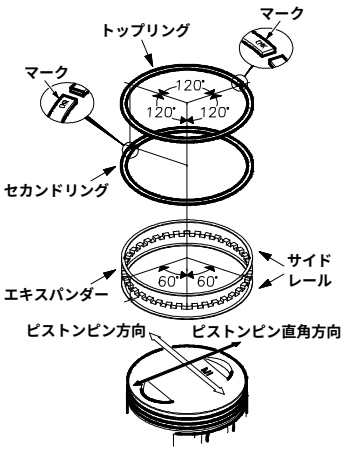
●キット取り付け

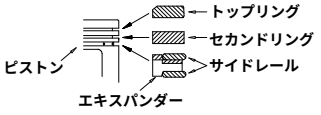
１．ピストン取り付け

・付属のピストンの片側のサークリップ溝にピストンピンサークリップをはめ込み、サークリップの合い口をピストン上下方向に向ける。



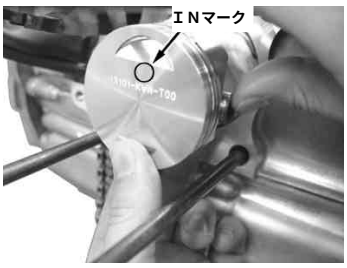
・ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。



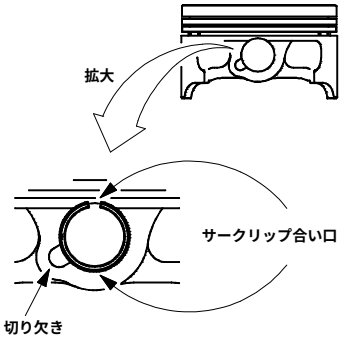


断面にも注意

・コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布しピストンピンにモリブデングリスを塗布し、ピストン頭部にある“ＩＮ”マークを上側（インテーク側）に向け、ピストンピンを取り付ける。

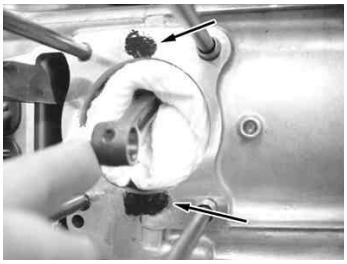


・もう片側のサークリップ溝にピストンピンサークリップをはめ込み、サークリップの合い口をピストン上下方向に向ける。



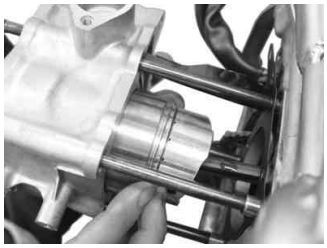
２．シリンダー、シリンダーヘッドの取り付け

・クランクケースに詰めていたウエスを取り除く。
・クランクケースの画像の記す箇所にシール剤を薄く塗布する。
シール剤：スリーボンド５２１１Ｃ又は相当品

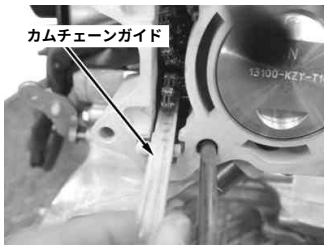


・クランクケースにノックピン２個と付属のシリンダーガスケットを取り付ける。

・ピストンリング部にエンジンオイルを塗布し、なじませる。シリンダー内周部を清掃した後にエンジンオイルを塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。



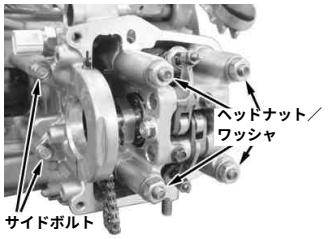
・カムチェーンガイドをクランクケースの溝とシリンダーの溝に合わせて取り付ける。シリンダーにノックピン２個と付属のシリンダーヘッドガスケットを取り付ける。



・カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。

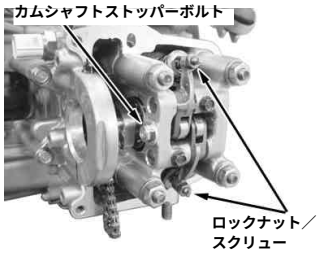
・ヘッドワッシャ４個、ヘッドナット４個を取り付け、対角に数回に分けて規定トルクにて締め付ける。サイドボルト２本を取り付ける。

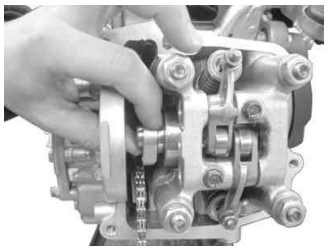
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドナット
：２７Ｎ・ｍ（２．８ｋｇｆ・ｍ）
サイドボルト
：１２Ｎ・ｍ（１．２ｋｇｆ・ｍ）



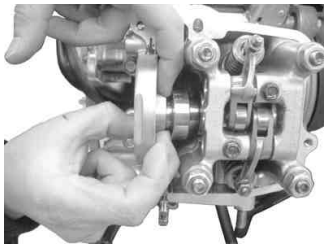
３．カムシャフト取り外し

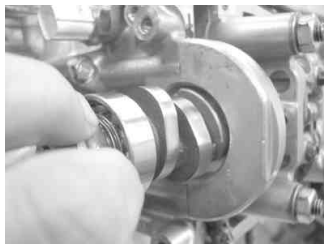
・タペットアジャストロックナットを緩め、タペットアジャストスクリューを一杯まで緩める。
・カムシャフトストッパーボルトを外しカムシャフトを抜き取る。





・カムシャフトを下の写真の位置まで抜いたらカムシャフトを１８０ 回転させ抜き取る。





４．デコンプパーツ取り付け

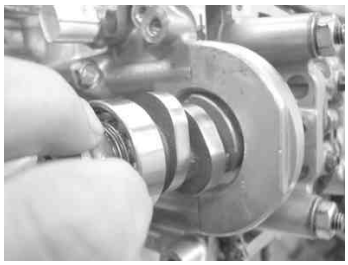
※アイドリングモードにて使用の場合はデコンプパーツは取り付けなくても使用上問題はない。
※デコンプパーツの取り外し、取り付けにはベアリングプーラーやプレス等を用いて作業する事。
・ベアリングプーラーを用い、ノーマルカムシャフト及び付属のカムシャフトのデコンプ側のベアリングを外す。
・写真を参照し、ノーマルカムからデコンプパーツを取り外す。

・付属のカムシャフトにデコンプパーツを逆の手順で組み付ける。
※組み付け時、スプリングの巻き方向に注意する事。
※キット付属のカムシャフトに取り付けられているシムリングは使用しない事と。
・プレス等を用い、ベアリングを圧入する。

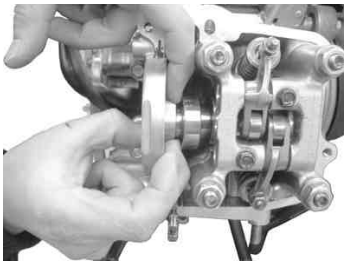
５．カムシャフト取り付け

・付属のカムシャフトのカム部、ベアリング部、取り付けた場合はデコンプ部にエンジンオイルを塗布する。

・抜き取った逆の手順でカム山をシリンダーヘッド上部に向けてカムシャフトを取り付ける。

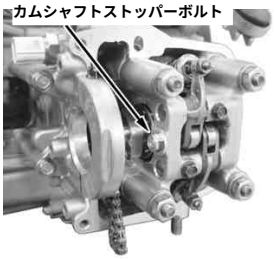


・カムシャフトを下の写真の位置まで挿入したらカムシャフトを１８０ 回転させ取り付ける。
※入れ難い場合でもハンマー等は使用しない。

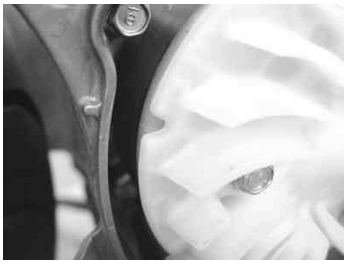


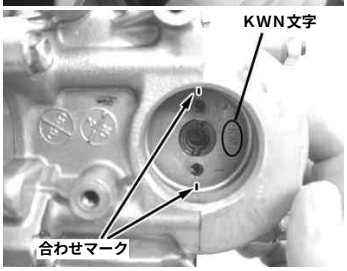
◇カムシャフトストッパーボルトを規定トルクで締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１．０ｋｇｆ・ｍ）



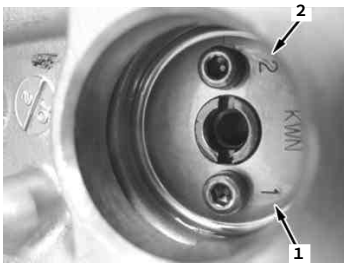
・クーリングファンの切り欠き部（Ｔマーク）とクランクケースの合わせマークが合っていることを確認する。カムスプロケットの合わせマークがヘッド面と合い、ＫＷＮの文字がエンジン前方を向くようにカムチェーンに取り付け、カムシャフトに取り付ける。





・ボルト２本をカムスプロケットの番号通りに規定トルクにて締め付ける。

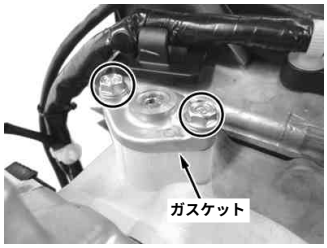
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：８Ｎ・ｍ（０．８ｋｇｆ・ｍ）



・カムチェーンテンショナーのストッパーを時計方向に回し、リフタ部をロックする。

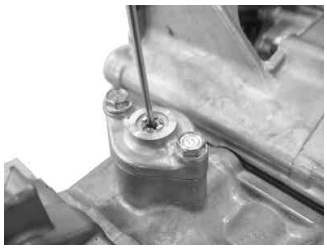
・カムチェーンテンショナーに付属のガスケットを取り付け、ボルト２本にてシリンダーに取り付ける。

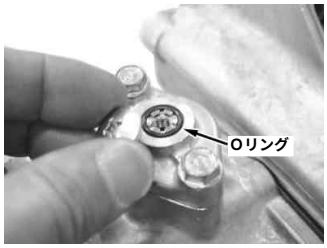
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１．２ｋｇｆ・ｍ）

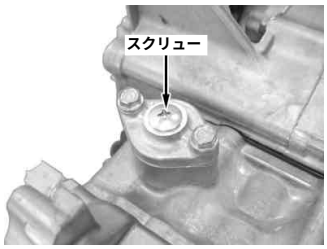


・反時計方向にストッパーを回し、リフタ部のロックを解除する。カムチェーンテンショナーの溝にＯリングが付いている事を確認し、スクリューをカムチェーンテンショナーに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：４Ｎ・ｍ（０．４ｋｇｆ・ｍ）







６．バルブクリアランス調整

・クーリングファンの切り欠き部（Ｔマーク）とクランクケース、カムスプロケットの合わせマークとヘッド面がそれぞれ合い、且つＫＷＮの文字がエンジン前方を向いている事を確認する。

・ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいき、タペットアジャスティングスクリューとバルブステムエンドの間にシックネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様にバルブクリアランスを合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける。

バルブクリアランス（冷間時）

ＩＮ：０．１０±０．０２mm

ＥＸ：０．２４±０．０２mm

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１．０ｋｇｆ・ｍ）

・タペット調整後、反時計方向にフライホイールを２回転回し、再びクーリングファンの切り欠き部（Ｔマーク）とクランクケース、カムスプロケットの合わせマークとヘッド面がそれぞれ合い、且つＫＷＮの文字がエンジン前方を向いている状態にする。

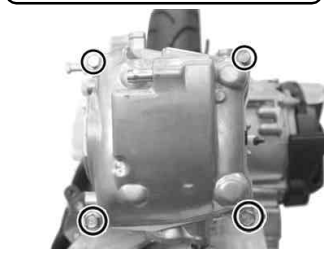
・バルブクリアランスを点検し、変化している場合は再調整する。この作業を合うまで繰り返す。

・シリンダーヘッドカバーにシールラバーを取り付け、画像の記す箇所にシール剤を塗布する。

シール剤：スリーボンド５２１１Ｃ
又は相当品

・ラバーシールがヘッドカバーの溝にしっかりはまっていることを確認し、４本のボルトにてシリンダーヘッドに取り付ける。

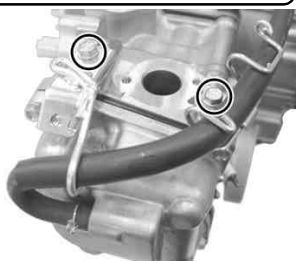
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１．２ｋｇｆ・ｍ）



・シリンダーヘッドに水温センサーのカプラを接続する。

・２個のホースクランプをボルトにてシリンダーヘッドに取り付け、ブリーザーホースをシリンダーヘッドカバーに接続する。

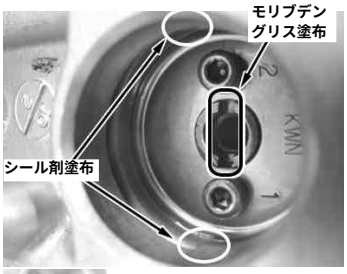
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１．２ｋｇｆ・ｍ）

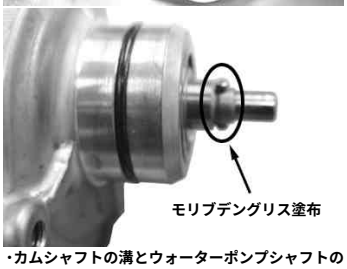


３．ラジエター／ポンプの取り付け

・シリンダーヘッドの画像の記す箇所にシール剤を塗布する。カムシャフトとウォーターポンプシャフトの接合部にモリブデングリスを塗布する。

シール剤：スリーボンド５２１１Ｃ
又は相当品



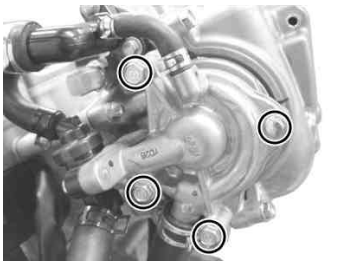


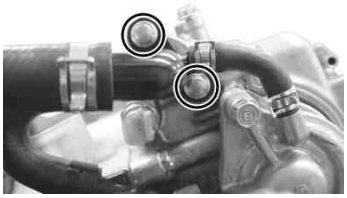
・カムシャフトの溝とウォーターポンプシャフトのピンを合わせながらウォーターポンプＡＳＳＹ．を取り付ける。

・ウォーターポンプカバーにノックピン２個が付いている事を確認し、各ホースやラジエターと共にエンジンに取り付ける。

・ウォーターポンプカバーをマウントボルト３本、カバーボルト１本にて取り付ける。ウォーターホースジョイントを２本のボルトにて取り付ける。

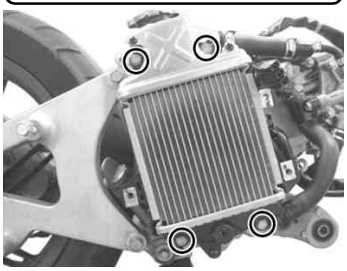
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
マウントボルト
：１２Ｎ・ｍ（１．２ｋｇｆ・ｍ）
カバーボルト
：１０Ｎ・ｍ（１．０ｋｇｆ・ｍ）
ジョイントボルト
：１０Ｎ・ｍ（１．０ｋｇｆ・ｍ）





・ボルト、ワッシャ４本にてラジエターを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１．２ｋｇｆ・ｍ）



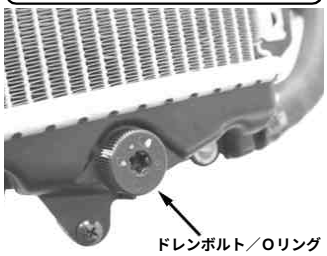
・ウォーターホースをシリンダーに接続しホースクランプを取り付ける。

・シリンダーにドレンボルト／シーリングワッシャを規定トルクにて締め付ける。

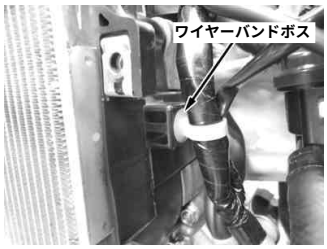
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１．２ｋｇｆ・ｍ）

・ラジエターのドレンボルトを規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１Ｎ・ｍ（０．１ｋｇｆ・ｍ）



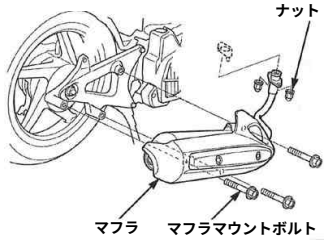
・ワイヤーバンドボスをラジエターに取り付ける。



８．（ノーマル）マフラ取り付け

※エキゾーストマフラが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラの取り扱い説明書に従う事。

・マフラーをセットし、３本のマウントボルトを仮止めする。シリンダーヘッド側のナット２個を仮止めする。



・仮止め部を規定トルクにて締め付ける。まずナット２個から締め付け、その後マウントボルト３本を締め付ける。

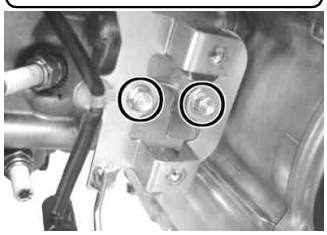
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
：２９Ｎ・ｍ（３．０ｋｇｆ・ｍ）
マウントボルト
：４９Ｎ・ｍ（５．０ｋｇｆ・ｍ）

９．イグニッションコイル取り付け

・付属のステーにＯ₂センサハーネスのワイヤーバンドボスとカプラを取り付ける。

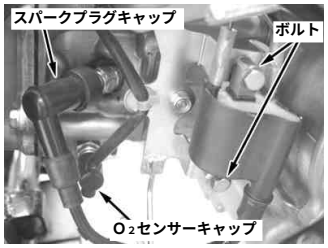
・ステーを２本のボルトにてシリンダーに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１．２ｋｇｆ・ｍ）



・イグニッションコイルを２本のボルトにてステーに取り付け、配線を接続する。O_2センサーキャップをまっすぐに接続する。スパークプラグキャップを取り付ける。O_2センサーハーネスのカプラの配線を接続する。

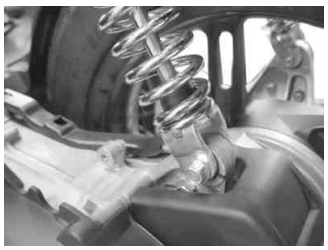
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）



●エンジン取り付け

・エンジンをフレームにセットし、エンジンハンガーボルトを差し込み、ロックナットを仮止めする。

・左右のリアショックをロアマウントボルト及びアッパーマウントナット／ワッシャ各２枚にて仮止めする。

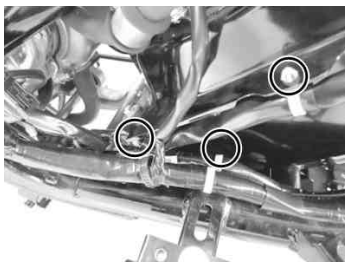


・センタースタンドを立て、車体を安定させた後に仮止め部を規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
エンジンハンガーナット
：４９Ｎ・ｍ（５.０ｋｇｆ・ｍ）
リアショックロアマウントボルト
：２７Ｎ・ｍ（２.８ｋｇｆ・ｍ）
リアショックアッパーマウントボルト
：２４Ｎ・ｍ（２.４ｋｇｆ・ｍ）

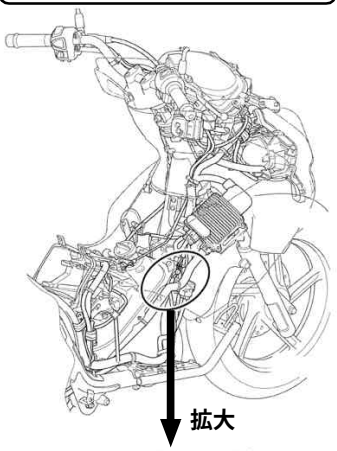
・サイフォンホースをラジエターに接続し、ホースクランプを外す。サイフォンホースをホースガイドに取り付ける。

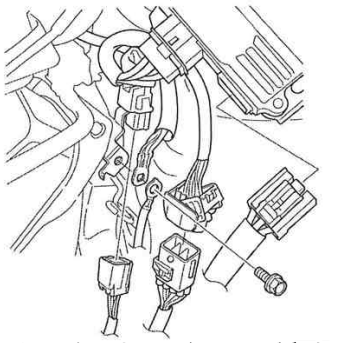
・クランクセンサ６Ｐカプラを接続する。４箇所のワイヤーバンドボスをフレームに取り付ける。



・エンジンコントロールユニット３Ｐ黒色カプラ、エンジンサブハーネス１０Ｐカプラ、エンジンサブハーネス６Ｐ黒色カプラをそれぞれ接続する。アースケーブルをボルトにて取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

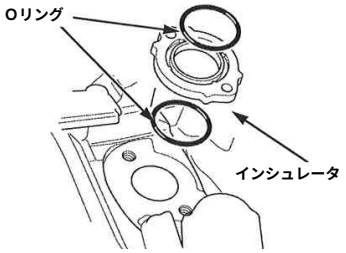




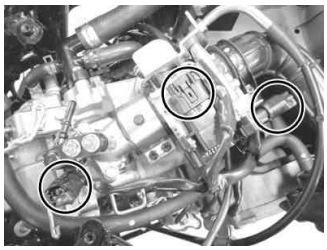
・インテークマニホールド／スロットルボディをエアクリーナコネクティングチューブに取り付け、バンドのスクリューを締め付ける。

・インシュレーターの裏表の溝にＯリングがついている事を確認してインテークマニホールドと共にセットし、２本のボルトにてシリンダヘッドに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１Ｎ・ｍ（０.１ｋｇｆ・ｍ）

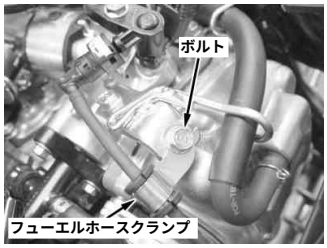


・インジェクタ２Ｐカプラ、センサーユニット５Ｐカプラ、ＩＡＣバルブ４Ｐカプラをそれぞれ接続する。
※Ｆ.Ｉ.コントローラーの取り付けを伴う場合は、その取り扱い説明書に従う事。

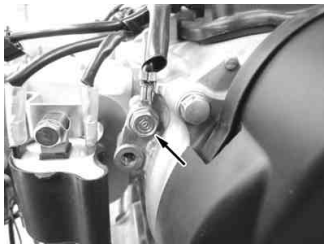


・フューエルホースのクイックコネクタを接続する。フューエルホースクランプをシリンダーヘッドカバーにボルトにて取り付ける。
※コネクタは「カチッ」と音がし、確実にロックするまで差し込む事。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

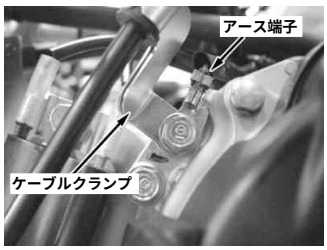


・ボルトを取り外し、アース端子を取り外す。



・ケーブルクランプを先程取り外したアースのボスにアース端子と共にボルトにて取り付ける。

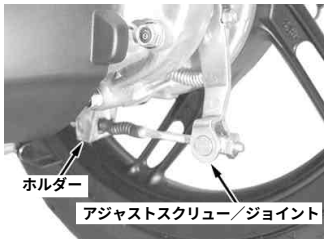
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）



・リアブレーキケーブルクランプをボルトにて取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

・ホルダー部にリアブレーキケーブルを取り付け、リアブレーキアーム／アジャストスクリュー／ジョイントを取り付ける。

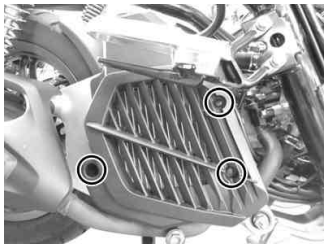


●冷却水の注入

・冷却水をラジエターキャップの口から注入し、一杯まで入れる。

・エンジンを始動し、数分間アイドリングさせた後、スロットルを数回軽くスナップし、冷却水経路のエアを抜く。この際に各部に水漏れが無いか点検を行う。
・エンジンを停止し、冷却水が減っている場合は再度一杯まで冷却水を補充する。ラジエターキャップを取り付ける。

・ラジエターカバーをボルト３本にて取り付ける。



※冷却水経路のエアは残っている場合があり、完全に抜けるまで多少時間が掛かるため、リザーブタンクの液量の点検を随時行う事。

●外装類取り付け

・ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、取り外した外装部品を取り付ける。

●クラッチセンタースプリングについて

・Ｓステージｅｃｏやマフラー等の組み合わせによりドライブベルトの滑りが生じる場合があります。

●ウエイトローラーのセッティングについて

・ウエイトローラーのセッティングにより更にＳステージｅｃｏの性能を発揮することが出来ます。
・ウエイトローラーは装着パーツにより異なるので下表を参考にセッティングを行って下さい。
※作業には特殊工具が必要です。

装着パーツ		推奨 ウエイトローラー
プーリー	マフラー	
ノーマル	ノーマル	１１ｇ×６ｐｃｓ
	弊社製※	１０ｇ×６ｐｃｓ
ハイスピードプーリーキット （０２－０１－００２５）	ノーマル	１０ｇ×６ｐｃｓ （プーリーキット付属品）
	弊社製※	

※パワーサイレントオーバルマフラー、サイレントスポーツマフラーを示す。

株式会社 SPECIAL PARTS 弐川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１―２５―１３５７ FAX ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル ０７２１―２５―８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp

Apr./10/ 13 rev.Apr./22/ 13